

活動分野	森林環境教育		
タイトル	第37回千葉県みどりの少年団交流集会		
実施日時	平成29年7月26日(水)～28日(金)		
実施場所	大多喜町大多喜県民の森		
受講者	135名	FIC会員他スタッフ	5名

### 活動の内容

今年で第37回をむかえた交流集会には、県下12市町より18団体135名が集い、大多喜県民の森の自然のなかで緑の体験学習と共同生活を通じて交流を深めました。当会よりは協力団体の一員としてAグループに2名、Bグループに3名のボランティアサポーターが参加しました。

参加少年団員はA・Bグループに分かれての二日間にわたる日程の中、一日目は、開会式に続いて参加した子ども達の名刺交換会とネイチャーゲームを通じたアイスブレイキング、その後キャンプ場へ移動して、竹コップ作りと夕食づくりとなります。私たちサポーターは、担当する班に入り、班の一員として竹コップ作り、マキ割、火おこしと焼きそば作りを指導します。

二日目は、朝の体操と散歩のあとの朝食を済ませ、午前中は体験林業として、伐倒したヒノキの枝払い、玉切り、皮むき、さらにヒノキの丸太を輪切りにしてのコースター作りなどの指導を行います。今回は、Aグループは二日目の林業体験が雨天のため、室内での竹のクラフト体験に替わりました。

27日(木)は、A・Bグループの子供たちの唯一の共通プログラムである活動発表会が行われました。和田小(佐倉市)・六合小(印西市)・千葉瑞穂(千葉市)・南白亀小(白子町)の4団体の子供たちが日ごろのみどりの活動について発表しました。

いつもながら厳しい暑さの中での交流会ですが、子ども達は新しい友達との交流を深め、またこの緑の体験を通じて自然や森林への理解をさらに深めていた様子です。

